

I 事業報告書

1 処務の概要

定款並びに関係法令等に基づく運営業務の実施状況等は次のとおりです。

(1) 重要な処務事項

年 月 日	処 務 事 項
令. 6. 4. 30	令和6年度第1回水産振興調査研究事業検討委員会 (諫早市役所)
5. 28	監事による決算監査 (当基金事務所)
6. 6	令和6年度第1回定時理事会 (ホテルグランドパレス諫早)
	1) 令和5年度事業報告書及び収支決算書 承認
	2) 令和6年度補正予算〔第1回〕(案) 承認
	3) 理事及び監事の改選にかかる候補者の推薦 (案) 承認
	4) 評議員の補充選任にかかる候補者の推薦 (案) 承認
	5) 令和6年度定時評議員会の日時、場所及び目的である事項 (案) 承認
	6) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告
6. 27	令和6年度定時評議員会 (ホテルグランドパレス諫早)
	1) 令和5年度事業報告
	2) 令和5年度収支決算書 承認
	3) 理事及び監事の改選
	○理 事 大石賢吾、大久保潔重、金澤秀三郎、友永智、松尾十七治、 宗圭之介 (6名選任)
	○監 事 友岡量、酒井義幸 (2名選任)
	4) 評議員の補充選任
	○評議員 中村一三、渋谷隆秀、吉田誠 (3名選任)
	○評議員 鵜瀬和博、綾香直芳、川口和宏 (3名辞任)
	5) 令和6年度事業計画書及び収支予算書の報告
6. 27	令和6年度第1回臨時理事会 (理事の提案による書面同意)
	1) 理事長、副理事長及び専務理事の選定
	○理 事 長 大石賢吾
	○副理事長 大久保潔重
	○専務理事 宗圭之介
7. 24	令和6年度ひとが行き交う諫早湾づくり助成事業採択委員会 (諫早市役所)

年 月 日	処 務 事 項
8. 8	令和6年度第2回臨時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 理事候補者の推薦 (案) 承認 2) みなし決議方式による令和6年度第1回臨時評議員会の目的である事項(案)承認
8. 27	令和6年度第1回臨時評議員会 (理事の提案による書面同意) 1) 理事の追加選任 ○理 事 田代一義 (1名選任)
9. 9	令和6年度水産振興助成事業採択委員会 (書面決議) ※(8/29 開催予定 台風10号 九州上陸のため書面決議に変更)
9. 30	令和6年度包括外部監査 (ヒアリング・資料閲覧等) (当基金事務所ほか) (令. 6. 9. 30 ~ 令. 7. 2. 26)
12. 16	来年度要望事業等ヒアリング (諫早湾漁協 瑞穂支所) 同 (諫早湾漁協 国見支所)
12. 18	同 (諫早湾漁協 本所)
12. 24	公益法人の関係法令に基づく立入検査 (当基金事務所)
令. 7. 1. 15	令和7年度基本財産一部処分限度額についての協議 (長崎県庁)
1. 16	同 (諫早市役所) 同 (雲仙市役所)
2. 14	令和6年度第3回臨時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 令和7年度基本財産一部処分限度額 (案) 承認 2) みなし決議方式による令和6年度第2回臨時評議員会の目的である事項(案)承認
3. 7	令和6年度第2回臨時評議員会 (理事の提案による書面同意) 1) 令和7年度基本財産一部処分限度額 (案) 承認
3. 24	令和6年度第2回水産振興調査研究事業検討委員会 (書面による意見集約)
3. 26	令和6年度第2回定時理事会 (理事の提案による書面同意) 1) 令和7年度事業計画書 (案) 及び収支予算書〔正味財産増減計算ベース〕(案) 承認 2) 令和7年度資産運用管理方針 (案) 承認 3) 理事長及び専務理事の職務執行状況報告

(2) 申請、提出、届出に関する事項

文書年月日	提出先	事項	承認・完了日	根拠となる法令等
令.6. 4. 1	長崎振興 局長	法人県民税の減免について（申請）	令.6. 9. 6	長崎県税条例 第16条
4. 1	諫早市長	法人市民税の減免について（申請）	8. 16	諫早市税条例 第51条
6.27	県知事	事業報告等に係る提出書について （提出）	—	認定法(※1) 第22条第1項
7.10	長崎地方 法務局	評議員、代表理事、理事及び監事 の変更登記（申請）	7. 10	法人法(※2) 第303条
7.25	県知事	理事及び代表理事の変更登記の 完了について（届出）	—	認定法 第13条第1項
9. 3	長崎地方 法務局	理事の変更登記（申請）	9. 3	法人法 第303条
9.12	県知事	理事の変更登記の完了について （届出）	—	認定法 第13条第1項
令.7. 1. 9	農業技術開発 センター所長	公有財産使用許可及び使用料の 免除申請について（看板設置の申請）	令.7. 3. 10	地方自治法第238条の4 長崎県県有財産の交換、譲 与等に関する条例第9条
1.23	県知事	公有財産貸付及び使用料の免除 申請について（事務所使用の申請）	3.25	地方自治法第238条の5 長崎県県有財産の交換、譲 与等に関する条例第4条
3.27	県知事	事業計画書等に係る提出書につい て（提出）	—	認定法 第22条第1項

(※1) 認定法：「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」

(※2) 法人法：「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」

(3) 役員等に関する事項

1) 役員

理事 規定 5名以上10名以内
現員 7名

監事 規定 2名以内
現員 2名

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏名	職名等
理事長	大石 賢吾	長崎県知事
副理事長	大久保 潔重	諫早市長
理事	金澤 秀三郎	雲仙市長
同	友永 智	有識者
同	松尾 十七治	有識者
同	田代 一義	有識者
専務理事	宗 圭之介	(兼事務局長)
監事	友岡 量	諫早市会計管理者兼会計課長
同	酒井 義幸	雲仙市会計管理者

2) 評議員

評議員 規定 5名以上10名以内
現員 9名

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏名	職名等
評議員	中村 一三	長崎県議会 前農水経済委員長
同	渋谷 隆秀	長崎県農林部長
同	吉田 誠	長崎県水産部長
同	藤山 哲	諫早市副市長
同	松橋 秀明	雲仙市副市長
同	高尾 茂	有識者
同	吉田 博幸	有識者
同	荒川 敏久	有識者
同	中道 正春	有識者

2 事業の概要

諫早湾地域における水産振興や地域振興に寄与するため、令和6年度事業計画書に基づき、水産振興のための助成事業及び調査研究事業並びに地域振興のための助成事業等を、長崎県の指導・監督、諫早市及び雲仙市の協力のもと、次のとおり実施しました。

(1) 公益目的事業1「魅力ある諫早湾水産業創出支援事業」

1) 助成事業

諫早湾地域における水産資源の維持・増大又は新たな定着化を図るため、海域特性に応じた水産振興に資する取組みを公募して対象事業を決定（「3 附属明細書」参照。）し、次のとおり助成を行いました。

魅力ある諫早湾水産業創出支援事業助成金	助成件数	助成額合計
	13件	22,077,001円

【明細書（助成内容等）】

① 種苗購入・放流等への助成

諫早湾の主要生産物であるアサリ、カキの増殖のため、種苗の購入・放流等に対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」を活用し、対象事業費の20%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	アサリ・カキの種苗購入 (アサリ139,898kg、カキ1,728連)	45,528,380	9,105,676
同 (瑞穂支所)	アサリ・カキの種苗購入等 (アサリ 16,000kg、カキ3,090連、網袋1,500枚 等)	11,456,667	2,291,333
同 (国見支所)	アサリの種苗購入等 (アサリ 15,000kg、フオークリフト借上料)	4,722,000	944,400
合計	3件	61,707,047	12,341,409

※諫早湾水産振興特別対策事業負担率基準（県60%、市15%、基金20%、漁協5%）

② 漁場改良整備等への助成

諫早湾内漁業の基盤となるアサリ漁場の耕耘・覆砂や防御網設置作業などの事業に対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」（負担割合は前出のとおり。）を活用し、対象事業費の20%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	アサリ漁場耕耘 (耕耘面積 247,900 m ²)	4,009,500	801,900
同 (国見支所)	アサリ漁場耕耘 (耕耘面積 7,600 m ²)	1,599,523	319,904
同 (小長井本所)	アサリ漁場覆砂・防御網設置 (砂 1,312 m ³ 、防御網 80 反、KP ロープ 80 丸)	9,316,800	1,863,360
同 (国見支所)	アサリ漁場覆砂 (砂 300 m ³)	1,773,144	354,628
合計	4件	16,698,967	3,339,792

③ カキの生産量拡大及び水産物の販売力強化への助成

カキ養殖は諫早湾における主要漁業に発展し、水産振興の重要な役割を担っています。カキの生産量拡大のための取組みに対し、県の「ながさき型マーケット・イン養殖産地育成事業」を活用し、対象事業費の25%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	カキ養殖筏1基設置 (25.6m×16.35m) [鋼製 改良型]	21,605,200	4,923,000
合計	1件	21,605,200	4,923,000

※ながさき型マーケット・イン養殖産地育成事業負担率基準（県50%、市20%、基金25%、漁協5%）

④ タイラギ生育観察調査への助成

諫早湾漁協が湾内全域で実施するタイラギの生育状況の観察調査事業に対し、県の「諫早湾水産振興特別対策事業」（負担割合は前出のとおり。）を活用し、対策事業費の20%以内で助成金を交付しました。（助成金は、諫早湾漁協の本所及び支所が所属する市単位で交付申請手続。）

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	タイラギの生育状況を把握するため、9月から3月にかけて、年4回の潜水調査を行い、生貝数や遺貝数及び海底の状況を観察調査。 (北側4回、南側4回) 【25箇所以内/回】	482,000	96,400
同 (瑞穂・国見支所)		602,000	120,400
合計		1,084,000	216,800

⑤ 漁業協同組合が主体的に行う増養殖・加工開発の取組みへの助成

諫早湾漁協が主体となって取り組む増養殖・加工開発試験に対し、対象事業費の50%以内で助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	小長井牡蠣を使ったオイスターソース開発試験 (試作・保存試験・栄養成分検査・パッケージ制作等)	488,289	230,000
同 (瑞穂支所)	カキの比較養殖試験 (未成熟貝の沖合域と干潟域での肥育比較試験)	653,571	326,000
計	2件	1,141,860	556,000

⑥ 漁業協同組合への定額助成

諫早湾漁協からの要望の中で、県・市の補助は受けられないが諫早湾の水産振興のために有用と判断される事業や経費について、70万円を上限として助成金を交付しました。

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
諫早湾漁協 (小長井本所)	荷捌き所の水槽改修 (水槽改修及び濾材追加)	853,300	700,000
合計	1件	853,300	700,000

2) 調査研究事業

諫早湾における水産資源の維持・増大又は新たな定着化のためには、増養殖技術の向上を図ることが重要です。そのため、諫早湾漁協、長崎県・諫早市・雲仙市の水産部門職員及び当基金の役職員で構成する「水産振興調査研究事業検討委員会」（「3 附属明細書」参照。）の審議を経て、令和6年度は次の〔1〕～〔2〕の調査研究に取り組みました。

調 査 項 目	経 費 合 計
〔1〕アサリ増養殖技術の開発試験	4,045,133円
〔2〕天然稚貝を用いたマガキの振り子式バスケット養殖試験	

〔1〕アサリ増養殖技術の開発試験

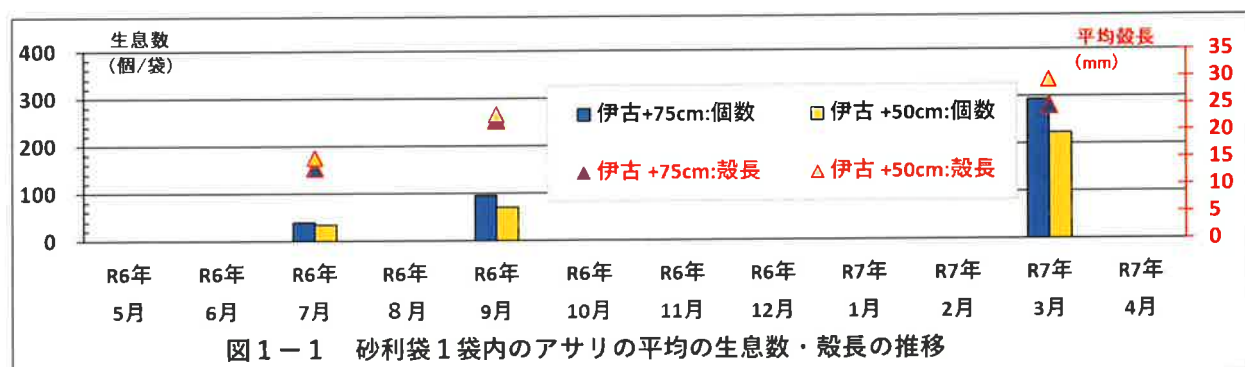
（背景・ねらい）アサリはカキとともに諫早湾内漁業の主要種であり、ピーク時には1,000トンを超える生産量でしたが最近では低迷しています。そこで瑞穂地域と小長井地域で採苗や育成試験などを行っており、令和6年度は採苗袋で稚貝着生の適地、地盤高、採苗後の育成手法の検討を行いました。

1) アサリ天然採苗果試験

<瑞穂地域>

（方法）瑞穂地域の過去の砂利袋での採苗試験で最も良好な伊古地区において、適地盤高として確認済みの+50cmの拡大の為に+75cmにおいて5月から採苗基礎的な試験を実施しました。

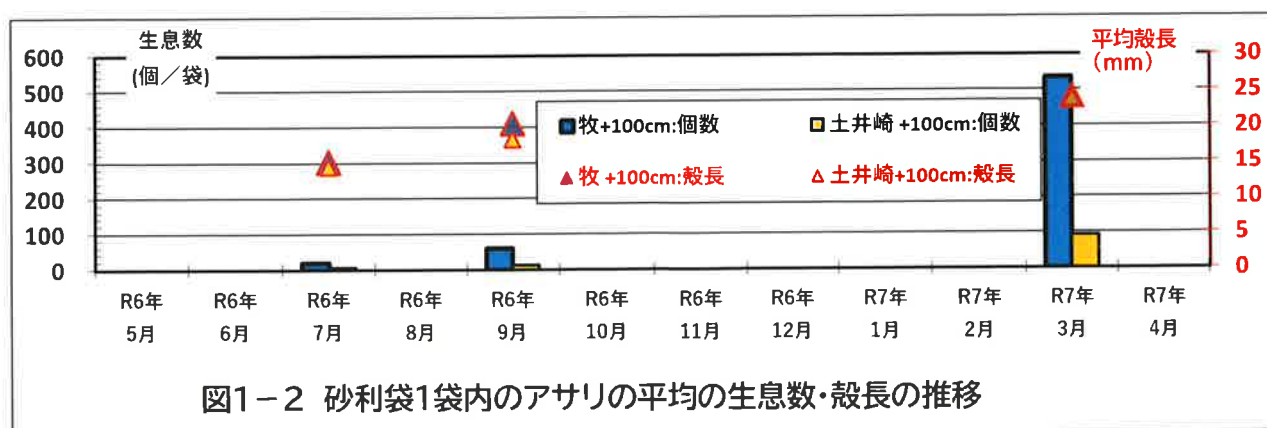
（結果）3月までの結果から地盤高+75cmでは+50cmと比較して成長ではやや低下しましたが、個数では上回ったことから、+75cmの地盤でも採苗では有効利用できる可能性が考えられました。



<小長井地域>

（方法）適地検討の一環で牧と土井崎の2地区の地盤高+100cm程度で砂利袋での採苗試験を5月から実施しました。

（結果）令和7年3月までの結果から牧地区は土井崎地区に比較すると生息数が良好で、成長は同程度ある結果が得られ、適地としての可能性が示されました。

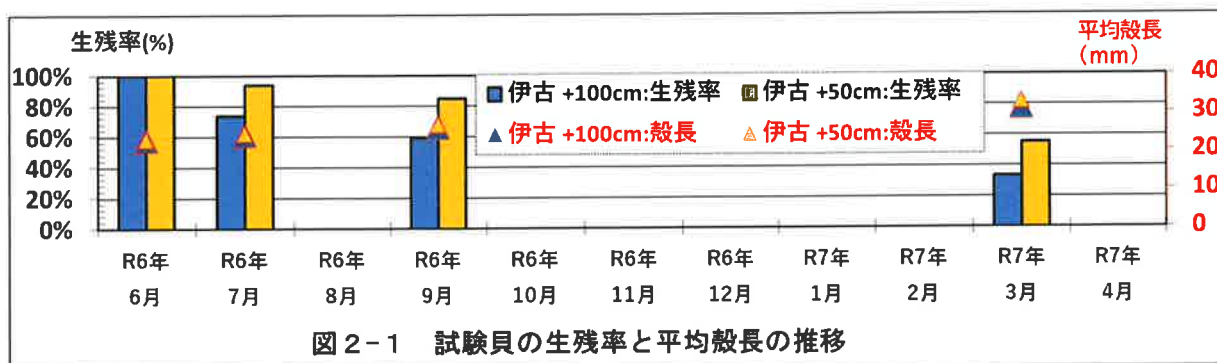


2) 採苗貝の有効利用試験

<瑞穂地域>

(方法) 採苗後の 2cm サイズの稚貝を利用し、収穫時期などで作業しやすい高めの地盤高+100cm で砂利袋に収容して育成する試験を地盤高+50cm と比較する試験を伊古地区で 6 月から実施しました。

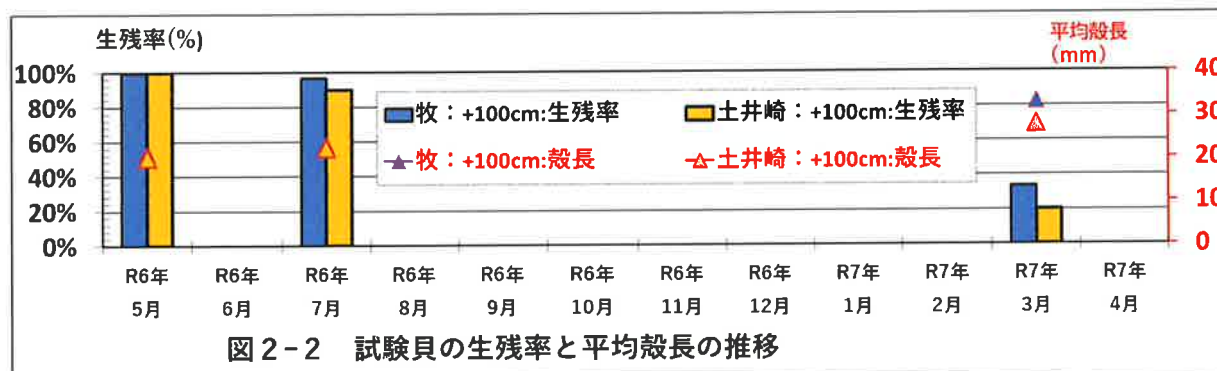
(結果) 3 月までの結果から+50cm に比べて生残で劣りましたが、9 月と比べると 3 月は生残・成長の差の変化はあまり見られず、秋季から稚貝を+100cm で育成する方法も検討できると思われました。



<小長井地域>

(方法) 採苗後の 2cm サイズの稚貝を利用し、牧と土井崎地区の地盤高+100cm 程度にて砂利袋に収容して育成する試験を 5 月から実施しました。

(結果) 令和 7 年 3 月までの結果から、牧地区では土井崎地区と比較すると生残・成長の面で良好な可能性のある結果が得られました。



3) 天然アサリの減耗防止試験

(方法) 稚貝着生が目立った令和 5 年秋に開始した小長井の金崎と土井崎地区で稚貝混り地盤を網袋式または被せ網式で減耗を防止する試験の継続調査とともに、令和 6 年秋から新たに被せ網による試験を開始しました。

(結果)

「令和 5 年度開始分」: 令和 5 年度の調査で年明け 3 月には秋からの減耗を抑える基礎知見が得られていましたが、令和 6 年 10 月には同年 3 月に比べ網袋・被せ網とも大きく減耗していました。ただし土井崎地区の令和 7 年 3 月の網袋の調査では令和 6 年 10 月 (200 個程度/袋、殻長 2cm) と比べると同等の生残数であり、殻長では 3cm となり良好な成長がみられました。

「令和 6 年度開始分」: (瑞穂地域) 9 月に伊古の地盤にて 5×5m の網の内部の地盤にアサリを推定数で約 1,400 個を地撒きして、令和 7 年 3 月にアサリの生息状況を調査しました。試験開始後に網の外側から小型貝の侵入もあったと思われますが、約 1,700 個とほぼ問題ない生残かと推定される基礎知見が得られ、次年度まで追跡調査の予定です。(小長井地域) 牧地区と土井崎地区で 5×5m の被せ網による試験を 9 月に開始し、令和 7 年 3 月の牧地区の調査では網の外側の地盤ではアサリの生息は確認されませんでした。網内では約 1,600 個/㎡のアサリが確認され減耗防止に効果的な知見が得られ、次年度に追跡調査の予定です。

〔2〕天然稚貝を用いたマガキの振り子式バスケット養殖試験

(背景・ねらい) 諫早湾では筏垂下のカキ養殖が主体ですが、国見地域は湾口部で季節風・波浪等で筏での養殖には難点があることから、華漣の籠式養殖を参考に、カキ地種種苗で干潮時に徒歩で養殖管理する手法を目指し、振り子式バスケット養殖試験を前年度に続き令和6年度も実施しました。

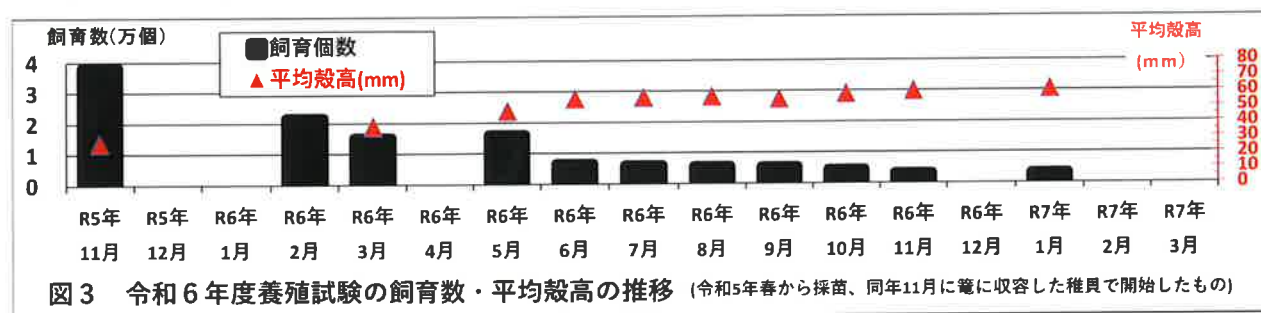
(方法)

養殖試験：令和5年5月から長浜地区の干潟で天然採苗した稚貝を用い、同年11月に約3.8万個を振り子式のバスケット籠に収容して本年度分の養殖試験を開始しました。開始後は籠交換・付着物掃除、選別などを行いながら令和7年1月までの成長・飼育数の把握を行いつつ、令和6年12月からはカキの衛生面の検査や、地域イベントなどでのPR活動や試食提供などを行いました。

天然採苗試験：過去の養殖試験では冬季のカキシーズンの成長目標である平均値での7cmには達しなかった状況から、今年度は採苗開始を早めて令和5年3月末から採苗を開始して経過を見ました。

(結果)

養殖試験：令和5年11月に平均殻高27mmの稚貝で籠飼育を開始し、令和7年1月には平均61mmとなり、目標としていた平均70mmには至りませんでした。過去の試験結果でもシーズンに平均値での70mmに達することは困難と思われましたが、衛生検査の問題点は特に無く、試供でのカキの評判は良好であることから、小型ではありますが「地種牡蠣」としての商品化に向けた生産体制を目指したいと考えています。



天然採苗試験：令和6年3月に採苗を開始して年内までは目視での稚貝の付着状況を観察しましたが、例年よりも雑物が秋に目立ちカキの着生数は少ない状況でありました。令和7年2月に採苗器を回収して稚貝を剥離してバスケット籠に収容し、3月に稚貝に混じった雑物除去と稚貝の計測・計数を行った結果、平均殻高で21mm、総個数は約1,400個で昨年度試験(3月時点で38mm、1.5万個)より小型で少数の結果となりました。採苗開始が早すぎたことも要因と思われ、次年度では5月からの採苗試験を再度行う予定です。

(2) 公益目的事業2「ひとが行き交う諫早湾づくり促進事業」

1) 助成事業

諫早湾干拓事業で創出された自然干陸地や調整池等をあらたな地域活性化の資源として捉え、地域住民・団体が自ら企画した環境美化活動・イベント開催などによる魅力づくり、諫早湾地域の魅力を伝える情報発信等の取組みを公募して対象事業を決定（「3 附属明細書」参照。）し、次のとおり助成を行いました。

ひとが行き交う諫早湾づくり促進事業助成金	助成件数	助成額合計
	4 件	2,970,000円

【明細書（助成内容等）】

単位：円

助成対象者名	事業内容	対象事業費	助成額
本明川を きれいに しゅう会 (構成23人)	自然干陸地除草管理及びコスモスの植栽管理 並びに小学生の種まき体験学習会の開催 【場所】諫早市川内町不知火橋下 (除草及びコスモスの植栽 約2.3ha)	1,250,000	800,000
黒崎干陸地 を守る会 (構成20人)	自然干陸地除草管理及びコスモス・菜の花の 植栽管理、芝生・つつじの管理 【場所】諫早市高来町黒崎地区 (除草 約2.2ha、うちコスモス・菜の花の植栽 管理 約0.8ha) (芝生 約0.371ha)	991,566	800,000
特定非営利 活動法人 拓生会 (構成28人)	自然干陸地除草管理及びコスモス・菜の花の 植栽管理及びクリーン作戦(清掃活動)の実施 【場所】諫早市高来町深海地区(約15.4ha管理) (コスモス植栽 約3ha、菜の花植栽 約1ha、 クリーン作戦は構成員ほか約70人参加)	3,800,629	800,000
いさぶら 実行委員会 (構成5人)	いさぶらルンルン ノルディックウォーキング 大会の開催(2回) 【場所(参加者)】①自然干陸地・②中央干拓地 ① 11/3 いさはや水辺のクロスカントリーコース(14名) ② 3/9 諫早湾干拓地前面堤防中央広場(53名)	586,638	570,000
合計	4 件	6,628,833	2,970,000

(3) その他の事業1「水産業経営安定対策事業」

1) 助成事業

漁家の経営基盤の安定のため、漁業後継者等の船舶免許の取得などの技能習得の取組みについて、次のとおり助成を行いました。

技能開発訓練助成金	助成件数	助成額合計
	2 件	129,600円

【明細書（助成内容等）】

○助成の内容	*基本手当 2,000円/日 *受講・教材手当 経費の80%以内(上限 80,000円)		
○助成の実績	1 二級小型船舶免許 1 件	86,000円(諫早湾漁協瑞穂支所 42才)	
	2 潜水士免許 1 件	43,600円(諫早湾漁協瑞穂支所 32才)	
	合計 2 件	129,600円	

3 附属明細書

(1) 助成事業並びに調査研究事業の明細

助成事業の内容並びに調査研究事業の成果等にかかる明細は、「2 事業の概要」に記載したとおりです。

(2) 助成事業の公募・事業採択並びに調査研究事業の結果報告・計画策定の方法

助成事業の公募・事業採択の方法並びに調査研究事業の結果報告・計画策定の方法は、以下のとおりです。

『公益目的事業1 関連』

①令和6年度魅力ある諫早湾水産業創出支援助成事業

- ◆公募期間 令和6年5月7日(火)から令和6年7月12日(金)まで
- ◆公募方法 当基金のホームページ、諫早市及び雲仙市（以下、「関係市」という。）の市報に公募の実施を掲載し、公募要領を当基金事務所、関係市の本庁及び諫早湾周辺支所に備付け

◆水産振興助成事業採択委員会

応募のあった事業の内容について各委員に報告後、助成事業を採択

○令和6年8月29日（木）に採択委員会を予定していたが、台風10号が九州に上陸したため、急遽、書面決議の方式によって実施（令和6年9月9日決議）

- 委員 長崎県漁政課総括課長補佐（委員長）
同 県南水産業普及指導センター所長
同 総合水産試験場次長兼企画開発推進室長
諫早市林務水産課長
雲仙市農漁村整備課長
当基金専務理事 以上6名

②令和6年度水産振興調査研究事業

◆水産振興調査研究事業検討委員会

【第1回】

令和5年度の調査研究事業の結果等を報告した上で、これまでの結果や状況を踏まえ令和6年度諫早湾貝類等増養殖試験計画書を作成

- 開催日時 令和6年4月30日（火）14時00分～15時30分
- 開催場所 諫早市役所会議室
- 委員等 諫早湾漁協本所 副組合長1名、担当職員1名
同 瑞穂支所 支所長1名、担当職員1名
同 国見支所 理事1名、担当職員1名
長崎県水産加工流通課係長
同 総合水産試験場 介藻類科長
漁場環境科長
同 県南水産業普及指導センター所長

諫早市 林務水産課長

雲仙市 農漁村整備課主事

当基金専務理事（委員長）、事務局次長、主任 以上15名

【第2回】

○令和7年3月24日（月）書面による提案 → 意見等集約

令和6年度調査の進捗状況の報告と、令和7年度調査の骨格について提案し、意見等の
聴取・集約

（調査方法等の詳細については、令和7年4月に開催予定の当委員会において、令和6年度
調査の結果等を報告後、審議予定）

○委 員 同上

『公益目的事業2関連』

①令和6年度ひとが行き交う諫早湾づくり促進助成事業

◆公募期間 令和6年5月7日（火）から令和6年6月24日（月）まで

◆公募方法 当基金のホームページ、関係市の市報に公募の実施を掲載し、公募要領を
当基金事務所、関係市の本庁及び諫早湾周辺支所に備付け

◆ひとが行き交う諫早湾づくり助成事業採択委員会

応募のあった事業の内容について各委員に報告後、助成事業を採択

○開催日時 令和6年7月24日（水）14時00分～14時40分

○開催場所 諫早市役所会議室

○委 員 諫早市干拓室長（委員長）

長崎県諫早湾干拓課長

諫早商工会議所事務局長

雲仙市商工会事務局長

当基金専務理事 以上5名